

## 武漢熱線

大分市商工農政部産業振興課  
伊東章将

Wu-han Hot Line

## 「日本商品商談会in武漢」を開催しました！

本市では、中国武漢市との長年にわたる友好都市交流で培われた信頼関係を経済分野に活かし、中小企業者の海外販路開拓を支援する「友好都市間交流ビジネスチャンス創出事業」を実施しています。

今回は、その一環として、おおいた産品等海外ビジネス促進協議会とともに開催した「日本商品商談会in武漢」について、ご紹介いたします。

## ○日本商品商談会in武漢の開催内容

今回の商談会は、おおいた産品等海外ビジネス促進協議会の会員企業からの発案により企画され、最終的には大分県内企業11社に大分市ブースを加えた12ブースで開催することになりました。



会場の様子

会場は、武漢市でも日本人が多く利用するホテルに催事場を設定し、中国人バイヤーだけでなく、現地で活動する日本人ビジネスマンやその家族もターゲットとしました。

出展商品は多岐にわたりましたが、それぞれの企業が協力し、趣向を凝らした商品アピールが行われました。たとえば、巻き



試食の提供

寿司の具材を扱う企業と海苔を扱う企業、冷凍鮮魚を扱う企業が協力し、寿司の試食を用意したり、洋菓子店とコーヒー関連商品企業がケーキとコーヒーを提供したりと、それぞれの長所を活かした出展を行いました。

そして会場のボルテージが最も高まったのは、マグロの解体ショーを行った瞬間です。前出の冷凍鮮魚を扱う企業の社長さん自ら包丁を手に取り、マグロの解体を披露しました。この時には現地バイヤーだけでなく、開催会場であるホテルの従業員も見物に訪れるなど、大盛況となりました。武漢市は中国の内陸部に位

置しており、近くに海が無いので、このようなショーは非常に珍しかったのだと思います。集客効果は抜群でした。



マグロ解体ショー



解体ショーを見る人たち

## ○商談会の成果

開場前は、お客さんが来てくれるのか不安でしたが、開始当初から予想を上回る来場があり、参加企業は多くの商談を行うことができました。もちろん、マグロの解体ショーの集客効果もあったのだと思いますが、長年にわたる友好関係を基とした武漢市の全面的な協力による事前周知のおかげでもあります。

また、刺身や寿司を中心に、多くの日本食を試食として提供したことから、来場した日本人からは、「久しぶりに日本の味を堪能できた。」とのお声をいただきました。「ここで買えないのか。どこで買えるのか。」との声もありましたが、今回は商談会でのサンプルの提供であり、通関していない商品もあることから販売は行いませんでした。もちろんBtoBの商談が大前提ですが、次回の商談会では通関を完了した商品を小売りできるような組立てをしていくことも重要であると感じています。

今回の商談会は、あくまで海外進出の足掛かりであり、ビジネスチャンスをものにできるかは、各企業の今後の継続的な商談活動にかかっています。これがきっかけとなり、大きな契約に結びつくことを期待しています。成果ができれば、今回参加していない企業にも興味を持ってもらえ、次回は更に多くの企業に参加してもらえるのではないかと考えています。

今回の経験を活かし、同様の商談会を数多く開催していくことで、地場企業の海外販路拡大の支援を行っていきたいと思います。



商談の様子